

4/12
日記

福井市の条の会が 10周年で記念集会 女優の田色ひる講演

見て、「何で戦争が起つた
んだか。人が人を殺す争
いは一切あつてはならな
い」との考えが芽生えた」

福井市9条の会の十周年

記念集会が十日、福井市の
フェニックス・プラザであ
った。朗読劇などで平和の大
切さを訴えてくる女優の
田色ひるゑさん(42)が講演
で自分の活動を振り返り、
朗読も交えて思いを語っ
た。

田色さんは一九四五(昭
和二十)年の東京大空襲で
祖母と叔母を、沖縄戦で叔
父を亡くした。小学五年の
時には映画「原爆の子」を

改憲に反対するアモに参
加してくる理由について
「私は生き残ったのだから
う、平和のためにできるこ
とを続けたい」と語った。
冗談も交えて和やかに話す
一方、東京大空襲で街が戦
地になつていぐ情景をつづ
った花森安治さんの詩「戦
場」の朗読では、重みのあ
る声で聴衆三百五十人を引
き込んだ。



田色さんは、福井市出身
の俳優・演出
家の宇野重吉
さんが創設し
た劇団民藝に
所属。宇野さん
との思い出
話も披露し
た。
「母のたまごやめの」を継けた」と語る田
色さんは福井市のフェニックス・プラザで